

# 被災地 NGO 協働センター2016 年度事業報告

## 【事業概要】

1. 寺子屋事業
2. まけないぞう事業
3. 災害救援事業
4. 提言（アドボカシー）・ネットワーク事業
5. 広報活動
6. その他

## 【事業内容】

### 1. 寺子屋事業

2016 年度は「もう一つの生き方、もう一つの働き方を考える」とテーマを設定し寺子屋を開催する予定であったが、熊本地震の影響により予定通りの開催はできなかった。

#### 7/2 農業について学ぼう

～時にはアホになってみよう～

講師：尾澤良平

#### 10/4 「NGO で働くとは？」

～もう一つの生き方・もう一つの働き方～

講師：今中麻里愛

#### 1/17 番外寺子屋 熊本地震の「今」を語り合う

～22 年目の神戸から続ける支援～

講師：鈴木隆太・寺本わかば・丸山真実

### 2. まけないぞう事業

岩手県中心に「まけないぞう」事業を展開。現在の作り手の人数は 55 人となりました。

仏教でいうところの 6 年の 7 回忌の節目を迎えた被災地では、阪神・淡路大震災を超える 6 年の仮設生活が続く、精神的にも限界を超えています。仮設住宅も歯抜け状態となり、取り残され、再建をあせる人、なかなか思うように家が見つからない人など疲労や不安も増しています。また復興住宅や自力再建した人のコミュニティの再構築など、「くらしの再建」はまだまだ途上です。高台移転でも、いまだ計画の遅れが出たり、公営住宅の再建の遅れなどがあり、復興はいまだ途上です。壁のような巨大な防潮堤、山を削り道路を伸ばし、大規模な盛り土による造成地、箱ものの建設などが続いています。被災者は「こんなはずではなかった」と様変わりする故郷をみながらため息交じりの言葉をこぼしています。年を追うごとに、みなさん当たり前に年をとります。身体も不調を訴えます。

「仮設での 6 年間は無駄だった。50 代だったのが 60 代だもの、年も取ったしもう取り戻せないのよ」という言葉を聞きました。

そんな被災者の心を癒すものが「まけないぞう」となっています。

\*\*\*\*\*

一枚のタオルを「まけないぞう」さんにして、目の前に並べていく。1ヶ完成、でも寂しいよ！2ヶ3ヶと、そして 50ヶの完成。夢中な心が寂しさをなぐさめ、充実感、幸福感で満たされます。単身の私にとって、家族が増えていくみたいな感じがあって、心のケアになっているのだと思います。ありがとうね。

～また、別の作り手さんは～

「震災から 6 年、いまだ 3 月が近づくと眠れない日々が続く、何もてにつかなくなったりします。もう薬は必要なくなった 3 月はやっぱり辛くなります。自分の中では、大丈夫と思っているのですが・・・。そんな時、この“ぞうさん”を作ります。普通なら 1 時間で何個でもできるのに、1 日、1ヶか 2ヶが限界。でも作ることで、どこか安心を得ているのです。」

\*\*\*\*\*

と話してくれています。厳しい現実の中で「まけないぞう」が被災者にとって、心のケアの一環となっています。

まけないぞうを長期的に支援してくれている方からのメッセージを以下に紹介します。

\*\*\*\*\*

桜ももうすぐ見頃をむかえます。まけないぞうさんも湯田小卒業生にプレゼントして 20 年過ぎようとしています。

卒業生、担任の先生方が、自分たちも何か役に立ちたいと毎年タオルを集めて「送って下さい」と持って来てくれます。ほんの小さな気持ちがつながってつながって和になっていくんだと改めて思います。小学生の気持ちを送らせていただきます。お役に立てれば幸いです。（広島県福山市）

\*\*\*\*\*

というメッセージを頂きました。支援者からのこのようなメッセージは、何より被災者の励みになります。また、支援者の側も「一本のタオル」を送ることでボランティアのきっかけとなります。

- ・ 2016 年度実績：7,230 頭出荷（うち子ぞう・親子ぞう・リングぞうは 3,000 頭、212 件）
- ・ 2016 年度 3 月末現在までの累計約 27 万頭

- ・ 回収、作り方講習会（岩手県遠野市、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市など）  
7/21～8/10、11/16～12/1、3/6～3/21

- ・ まけないぞう報告会等  
3/25 尼崎市立地域総合センター上ノ島（兵庫）

- ・ イベント等での販売  
4/21 新潟アンテナショップ（東京）  
4/30 わかちあい祭り（京都）  
5/3～5/4 高槻ジャズフェスタ  
7/21～7/26 第 5 回川徳 絆フェア  
10/15～10/16 高槻食の文化祭

### 3. 災害救援事業

#### 1) 国内災害に関する救援・復興・提言活動

##### (A) 災害発生時の対応

2016 年度は熊本地震が発生し、そちらの支援を中心に支援活動を展開した。当センターでは、熊本県阿蘇郡西原村に拠点を構え、現地スタッフを雇用し、災害ボランティアセンターの運営支援や避難所等での足湯ボランティア、集落再建支援などを展開している。（現在も継続中）その他、茨城県常総市水害の支援、広島土砂災害の支援も継続して行なった。

- ・ 熊本地震派遣（スタッフ別）  
頼政：4/18～26、4/29～5/18、5/21～26、5/29～6/3、6/6～13、6/20～29、7/3～6、7/13～19、7/25～8/3、8/7～11、8/23～27、11/2～3、12/1～5、12/11～13、2/7～8、2/21～24、2/28～3/1、3/7～9、3/21～23  
増島：4/15～19、4/29～5/9、5/19～6/27、7/7～12、11/1～7  
村井：5/1～3  
現地スタッフ：鈴木（4/26～3/31）・寺本（5/1～3/31）・丸山（8/20～3/31）

#### 8/21 活動報告会

#### 1/17 番外寺子屋

・常総市水害（関東・東北水害）

4/22~24（増島）

・広島土砂災害

8/18~21（増島・頼政） 3 回忌法要

(B) 東日本大震災支援の継続

まけないぞう事業は引き続き、神戸からのサポート体制を継続した。

\*まけないぞうの記録はまけないぞう事業の項を参照

(C) 復興支援活動

・まけないぞう事業

2.を参照

・KOBE 足湯隊のサポート

当センターが事務局を努める「KOBE 足湯隊」は、主に能登半島（2007 年地震発生）・兵庫県佐用町（2009 年水害発生）など地震や水害の被災地に出かけてきた。能登半島地震の被災地では、毎年継続的に熊甲祭りに参加。また、今年度は能登半島地震 10 年の記録誌を作成した。

また、「ポーアイ 4 大学連携事業」として、レガッタ神戸での神戸マラソン応援イベントにて足湯ボランティアを行なった。

・ミーティング：4/4、5/7、6/13、8/6、9/2、10/15、11/9、12/17、1/11、2/15、3/10

・その他

4/13 足湯ボランティア講習会（神戸大学）

5/28 足湯ボランティア講習会

6/4 学生コンソーシアムひょうご主催・足湯講習会 2016

9/2 足湯講習（関学ヒューマンサービスセンター）

9/18~21 熊甲祭り

9/22~24 能登半島ヒアリング

11/5 ケアハウス神戸足湯

11/9,16 神戸学院大学足湯ボランティア講習会

11/18,19 レガッタ神戸での足湯

11/26 神戸学院大学足湯振り返り

12/23~25 能登半島ヒアリング

3/24~26 能登派遣

D) 南海トラフ巨大地震に対して

・たつの女性が担う地域防災塾との協力

昨年度に引き続き、たつの女性が担う地域防災塾の活動へ参加。同塾生と共に熊本地震被災地での足湯ボランティアを行なった。

5/1~3 熊本地震被災地視察・足湯ボランティア

・高知県黒潮町などとのつながりの継続

高知県黒潮町への訪問は 2017 年 5 月にずれ込み実施することができなかった。徳島県とのネットワークも特に進捗はなかった。

2) 海外災害に対する緊急救援活動とその後の復興へつなげる支援活動

当センターは CODE 海外災害援助市民センターの事務局をサポートしながら、震災の経験を伝え、痛みの共感をし、お互いに学び合い、海外の災害救援を通して、支えあいの輪を広げてきた。

4. 提言・ネットワーク事業

(A) もう一つの働き方、もう一つの生き方についての模索

寺子屋事業が十分に開催できず、テーマについて深く議論ができなかった。今年度引き続き、模索していく予定。

(B) ボランティア経済圏の具現化

まけないぞう事業を通して具現化について図った。

(C) インターン受け入れ

神戸学院大学/神戸松蔭女子学院大学

今中麻里愛（神戸学院大学）

(D) その他

2016 年度で第 12 回目となる東海地震に備えた「静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」でのネットワークには引き続き関わっている。県外メンバーとしてプログラム作成のためのワーキンググループ（WG）にもスタッフの頼政が参加した。

・WG 会議（7/20、11/24、1/12、2/2、3/6）

・図上訓練（3/4~5）

・ネットワーク事業

4/7 高野山訪問（村井・増島・頼政）

4/30 しみん基金こうべ 四役会議（村井）

5/1MBS ラジオ ネットワーク 1.17 出演（頼政）

5/12 しみん基金こうべ 理事会（村井）

5/26 しみん基金こうべ 総会（村井）

5/27 被災地 NGO 協働センター 総会

5/30 野花会 理事・評議委員会（村井）

6/4 震つな総会（頼政）

6/7 火曜サロン「草地賢一さんを偲ぶ」（村井）

6/14 日本災害復校学会 理事会（村井）

6/29 東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会（村井）

6/30 しみん基金こうべ 臨時理事会（村井）

7/7 おおさか災害支援ネットワーク（頼政）

7/18 兵庫県立大学 熊本地震報告会（村井）

7/22 しみん基金こうべ 理事・審査委員会（村井）

8/5 人と防災未来センター 事業評価委員会（村井）

8/6 熊本支援活動報告会「体験して思うこと、課題を探るしゃべり場」（村井）

8/16 東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会（村井）

8/30 日本財団災害時支援活動コーディネーター育成研修（頼政）

9/9 花王からのインタビュー（頼政）

9/15 Comin' KOBE 松原さんとの打ち合わせ（頼政）

9/16 しみん基金こうべ 理事会（村井）

9/22 今田忠出版記念パーティ「日本における民間公益活動の流れ」（村井）

9/23 真如苑 SeRV インタビュー（頼政）

10/8 神戸ソーシャルフォーラム（頼政）

10/11 須磨青空元気フェスティバル打合せ（頼政）

10/19 全日本仏教婦人連盟大会（頼政）

10/22-23 震つな定例会・移動寺子屋（頼政）

10/26 おおさか災害支援ネットワーク（頼政）

10/28 しみん基金こうべ 助成事業公開審査会、理事会（村井）

11/10 日本災害復興学会 理事会（村井）

11/16 PeaceWinds20 周年パーティー（頼政）

11/21 ひょうご安全の日推進県会議 総会（頼政）

11/22 平成 28 年熊本地震・避難所課題共有ワークショップ（頼政）

12/1 震つな復興寺子屋 in 熊本（頼政）

12/10 SVA35 周年記念会（村井）

12/16 しみん基金こうべ 理事会（村井）

1/9 2017 年復興・減災フォーラム「地域存亡と災害からの復興」（村井・増島）

1/11 NHK ラジオ アフター3.11 出演 (頼政)  
1/20 JVOAD 避難所生活環境改善専門委員会 (頼政)  
1/23 熊本地震シンポジウム・支援団体が備えておくべきこと (頼政)  
1/27 震つな水害ガイドブック作成事業・丹波市でのヒアリング (頼政)  
1/28 Lush 京都四条通店チャリティーイベント (頼政)  
2/6 全日本仏教婦人連盟修正会 (頼政)  
2/6 JVOAD 避難所生活環境改善専門委員会 (頼政)  
2/9 おおさか災害支援ネットワーク (頼政)  
2/11 KFC (神戸定住外国人支援センター) 20周年記念の集い (村井・細川・増島)  
2/15 NHK あさイチ出演 (頼政)  
2/15 JVOAD 避難所生活環境改善専門委員会 (頼政)  
2/22 震つな復興寺子屋 in 熊本 (頼政)  
2/24 しみん基金こうべ 理事会 (村井)  
3/2 JVOAD 避難所生活環境改善専門委員会 (頼政)  
3/9 関西国際協力 NGO と JICA との連携会議 (頼政)  
3/23 震つな情報交換会 in 熊本 (頼政)  
3/25 穴水町能登半島地震 10 年復興記念式典 (頼政)  
3/27 JVOAD 避難所生活環境改善専門委員会 (頼政)  
3/28 震つな役員会議 (頼政)

・講義・講演活動

4/29 関西学院大学講義「被災地の現場から」(村井)  
5/17 堺 自由の泉大学 2016 年度開講式シンポジウム (村井)  
6/5 震つな移動寺子屋 in 常総 (頼政)  
6/10 「熊本地震 被災した住まいへの応急対処から再建まで」(京都建築専門学校) (村井)  
6/14 CSR リンクアップフォーラム (頼政)  
6/16 神戸女子大学講義「神戸と防災学～ボランティアとは」(村井)  
6/19 第 34 回ボランティア推進団体会議「市民活動組織だからこそできる災害支援のあり方」(頼政)  
6/23 神戸女子大学講義「神戸と防災学～阪神・淡路大震災とボランティア」(村井)  
6/30 神戸女子大学講義「神戸と防災学～東日本大震災とボランティア」(頼政)  
7/7 神戸女子大学講義「神戸と防災学～広島、丹波、関東・東北豪雨災害」(頼政)  
7/8 「中国・四川と熊本をつなぐ復興知の可能性」(関西学院大学復興制度研究所) (村井)  
7/11 神戸子ども総合専門学院「水俣のいま」(村井)  
7/12 平成 28 年熊本地震支援活動報告会「今求められる支援の在り方」(頼政)  
7/24 兵庫県立大学地域ケア開発研究所 2016 災害看護フォーラム (頼政)  
7/26 熊本復興宗教者支援連絡会 (頼政)  
8/27 防災士研修(湖南省)「災害とボランティア活動」(村井)  
9/7 神戸市シルバーカレッジ講演「災害ボランティアについて」(村井)  
10/9 防災士研修(大阪上本町)「災害とボランティア活動」(村井)  
10/17 JICA 中南米災害医療マネジメントコース (村井)  
10/26 神戸学院大学現代社会学部清原ゼミ「災害とボランティア」(村井)  
10/29 番外寺子屋「災害資本主義とボランティア活動」(村井・頼政)  
10/30 DANSO10 年記念講演「過去の災害からの学びを医療の場に」(村井)  
11/2 神戸松蔭女子学院大学講義「ボランティアとは？」(村井)  
11/9 神戸松蔭女子学院大学講義「阪神・淡路大震災で生まれた”ボランティア元年”とは？」(村井)

11/16 神戸松蔭女子学院大学講義「災害においてボランティアはどのような働きをしているのか？」(村井)  
11/26 防災士研修(大阪狭山市)「災害とボランティア活動」(村井)  
11/29 コープこうべ姫路地区講演「地域防災について」(村井)  
11/30 神戸松蔭女子学院大学講義「被災者の自立と支援者のあり方」(村井)  
11/30 ひょうごボランティアプラザ「災害ボランティアコーディネーター養成講座」(頼政)  
12/3 福井大学講義「災害ボランティア論」(村井)  
12/7 神戸松蔭女子学院大学講義「心のケア」(増島)  
12/10 兵庫県立大学講義 (頼政)  
12/14 神戸松蔭女子学院大学講義 (村井)  
12/17 福井大学講義「災害ボランティア論」(村井)  
12/18 防災士研修(大阪新梅田)「災害とボランティア活動」(村井)  
12/21 神戸松蔭女子学院大学講義 (村井)  
12/22 大阪府社協「災害ボランティアコーディネーター養成講座」(頼政)  
1/8 全国被災地交流集会円卓会議 (増島・頼政)  
1/11 神戸松蔭女子学院大学講義 (村井)  
1/13 岩屋中学校講演「転ばぬ先の杖、転んだ後のいのちづな」(村井)  
1/24 堺 自由の泉大学講演「阪神・淡路大震災から 22 年～教訓と経験は生かされているのか？」(村井)  
1/29 神戸ソーシャルキャンパスオープンシンポジウム (頼政)  
2/28 中央大学ボランティアセンター研修 (村井)  
3/4 全国ボランティアコーディネーター研究集会 (増島)  
3/11 JICA チリ国別研修 (頼政)  
3/17 兵庫県社協ワーカー実践研究集会 (頼政)  
3/25 盛岡ワークショップ「東日本大震災・岩手県の 5 年間の復興の検証とその後の社会の形成へむけての行動計画」(村井)

<関係団体・グループとのネットワーク>

- ・しみん基金 KOBE/副理事長
  - ・震災がつなぐ全国ネットワーク/団体会員・事業担当責任者
  - ・人と防災未来センター/事業評価委員
  - ・日朝兵庫友好の会/常任委員
  - ・レスキューストックヤード/評議員
  - ・CODE 海外災害援助市民センター/理事
  - ・日本災害復興学会/理事
  - ・関西学院大学災害復興制度研究所/外部研究員
  - ・東海地震に備えた災害ボランティアネットワーク委員会
  - ・9 条の会ひょうご
  - ・KOBE ピース i ネット
- (その他)
- ・神戸大学非常勤講師/神戸学院大学非常勤講師/福井大学非常勤講師/神戸松蔭女子学院大学非常勤講師/神戸女子学院大学非常勤講師/日本防災士機構/講師

5. 広報事業

会員間の連携と協働の充実を図るとともに、被災地内外の関係団体、支援者への情報発信を行った。

- ・じゃりみち 1 回発行 (各約 800 部)
- じゃりみちは熊本地震等の影響で年 1 回しか発行できなかった。
- ・FB などの SNS も利用しながら情報発信を行っている。

6. その他

(A) 脱原発 24 時間リレーハンガーストライキ

2012 年度から継続して脱原発ハンガーストライキを「原発が停止するまでやり遂げる覚悟」持って今日まで続けてきた。